

運用報告書 (全体版)

世界高配当株セレクト (目標払出し型) 毎月決算・為替ヘッジなしコース

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2012年12月17日から2027年11月25日まで	
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界の高配当株投資戦略の運用成果を反映するクロッキー高配当世界株指数 (以下「高配当株戦略指数」といいます。) から得られる総合収益の獲得、および毎月の分配実施 (実質的な投資元本の払い戻しにより一部または全部の額を充当することができます。) による定期的な投資信託財産の一部払い出しを目的とします。	
主要投資対象	世界高配当株セレクト (目標払出し型) 毎月決算・為替ヘッジなしコース	投資信託証券
	シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド (アンヘッジド) - Aクラス	スワップ取引
運用方法	国内マネー・マザーファンド	本邦通貨建ての公社債
	以下の投資信託証券を通じて、高配当株戦略指数 (配当込み、円ベース、円ヘッジなし) に実質的に投資を行います。 ケイマン諸島籍外国投資信託 シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド (アンヘッジド) - Aクラス (以下「エクイティファンド (ヘッジなし) A」といいます。) 円建受益証券 内国証券投資信託 (親投資信託) 国内マネー・マザーファンド受益証券 なお、エクイティファンド (ヘッジなし) Aにおける高配当株戦略指数 (配当込み、円ベース、円ヘッジなし) への実質的な投資は、ドイツ銀行ロンドン支店を取引相手とする担保付スワップ取引により行います。	
組入制限	世界高配当株セレクト (目標払出し型) 毎月決算・為替ヘッジなしコース	投資信託証券および短期金融商品 (短期運用の有価証券を含みます。) 以外には投資を行いません。投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
	国内マネー・マザーファンド	株式への投資は行いません。外資建資産への投資は行いません。
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等の全額とします。分配金額は、原則として、当ファンドの決算日の直前におけるエクイティファンド (ヘッジなし) Aの分配額に基づく額を払い出すことを目標に委託者が決定します。エクイティファンド (ヘッジなし) Aの分配金は投資収益に基づくものではなく、原則として、1年毎に到来する特定日の純資産価格に所定の分配率を乗じて得た額としてその1口当たりの分配金が決定されます。結果として、当ファンドの分配金は実質的な投資元本の払い戻しにより一部または全部の額が充当されることがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

第156期	<決算日	2025年12月25日>
第157期	<決算日	2026年1月26日>
第158期	<決算日	2026年2月25日>
第159期	<決算日	2026年3月25日>
第160期	<決算日	2026年4月27日>
第161期	<決算日	2026年5月25日>

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「世界高配当株セレクト (目標払出し型) 毎月決算・為替ヘッジなしコース」は、2026年5月25日に第161期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<https://www.am-one.co.jp/>

世界高配当株セレクト（目標払出し型）毎月決算・為替ヘッジなしコース

■最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			高配当株戦略指数		投資信託 受益証券 組入比率	債券組入 比率	純資産 総額
		(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	配当込み、円ベース、 円ヘッジなし (参考指数)	期中 騰落率			
第23作成期	132期 (2023年12月25日)	円 6,114	円 78	% △1.1	11,436.51	% △1.2	% 97.6	% 0.1	百万円 118,628
	133期 (2024年 1 月25日)	6,213	75	2.8	11,800.76	3.2	97.4	0.1	120,700
	134期 (2024年 2 月26日)	6,357	75	3.5	12,347.25	4.6	98.0	0.1	123,300
	135期 (2024年 3 月25日)	6,630	75	5.5	12,984.28	5.2	98.0	0.1	129,128
	136期 (2024年 4 月25日)	6,641	75	1.3	13,185.26	1.5	98.4	0.1	128,797
	137期 (2024年 5 月27日)	6,724	75	2.4	13,536.59	2.7	98.1	0.1	130,662
第24作成期	138期 (2024年 6 月25日)	6,625	75	△0.4	13,510.76	△0.2	98.1	0.1	129,288
	139期 (2024年 7 月25日)	6,560	75	0.2	13,558.17	0.4	97.9	0.1	128,162
	140期 (2024年 8 月26日)	6,225	75	△4.0	13,031.02	△3.9	98.0	0.1	121,472
	141期 (2024年 9 月25日)	6,152	75	0.0	13,054.55	0.2	98.3	0.1	119,562
	142期 (2024年10月25日)	6,288	75	3.4	13,557.51	3.9	98.1	0.2	121,936
	143期 (2024年11月25日)	6,138	75	△1.2	13,414.03	△1.1	98.2	0.2	118,674
第25作成期	144期 (2024年12月25日)	5,948	75	△1.9	13,182.05	△1.7	97.9	0.2	114,616
	145期 (2025年 1 月27日)	6,027	72	2.5	13,558.80	2.9	98.2	0.2	115,146
	146期 (2025年 2 月25日)	5,906	72	△0.8	13,511.39	△0.3	97.8	0.2	111,991
	147期 (2025年 3 月25日)	5,902	72	1.2	13,667.01	1.2	97.9	0.2	111,138
	148期 (2025年 4 月25日)	5,298	72	△9.0	12,444.83	△8.9	97.9	0.2	99,342
	149期 (2025年 5 月26日)	5,390	72	3.1	12,868.67	3.4	98.3	0.2	100,620
第26作成期	150期 (2025年 6 月25日)	5,365	72	0.9	13,015.56	1.1	98.2	0.2	99,011
	151期 (2025年 7 月25日)	5,577	72	5.3	13,753.32	5.7	98.2	0.2	101,282
	152期 (2025年 8 月25日)	5,609	72	1.9	14,052.77	2.2	97.9	0.2	100,934
	153期 (2025年 9 月25日)	5,434	72	△1.8	13,866.90	△1.3	98.2	0.2	95,749
	154期 (2025年10月27日)	5,688	72	6.0	14,699.20	6.0	98.2	0.2	98,464
	155期 (2025年11月25日)	5,731	72	2.0	15,171.38	3.2	98.6	0.2	97,131
第27作成期	156期 (2025年12月25日)	5,892	72	4.1	15,709.98	3.6	98.2	0.2	97,662
	157期 (2026年 1 月26日)	6,089	70	4.5	16,482.82	4.9	98.0	0.2	100,002
	158期 (2026年 2 月25日)	6,331	70	5.1	17,318.58	5.1	97.9	0.2	99,045
	159期 (2026年 3 月25日)	5,906	70	△5.6	16,427.44	△5.1	98.4	0.2	88,494
	160期 (2026年 4 月27日)	6,009	70	2.9	16,960.90	3.2	98.2	0.2	87,661
	161期 (2026年 5 月25日)	5,986	70	0.8	17,140.11	1.1	98.3	0.2	86,550

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

(注4) 高配当株戦略指数はクロッキー高配当世界株指数です（以下同じ）。

(注5) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

■過去 6 ヶ月間の基準価額と市況の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		高 配 当 株 (配当込み、円ベース、 円ヘッジなし) (参 考 指 数)	戦 略 指 数 騰 落 率	投 資 信 託 債 券 組 入 組 入 比 率	債 券 組 入 比 率
			騰 落 率				
第156期	(期 首) 2025 年 11 月 25 日	円 5,731	% －	15,171.38	% －	% 98.6	% 0.2
	11 月 末	5,832	1.8	15,473.53	2.0	98.3	0.2
	(期 末) 2025 年 12 月 25 日	5,964	4.1	15,709.98	3.6	98.2	0.2
第157期	(期 首) 2025 年 12 月 25 日	5,892	－	15,709.98	－	98.2	0.2
	12 月 末	5,885	△0.1	15,769.19	0.4	98.3	0.2
	(期 末) 2026 年 1 月 26 日	6,159	4.5	16,482.82	4.9	98.0	0.2
第158期	(期 首) 2026 年 1 月 26 日	6,089	－	16,482.82	－	98.0	0.2
	1 月 末	5,957	△2.2	16,119.38	△2.2	98.1	0.2
	(期 末) 2026 年 2 月 25 日	6,401	5.1	17,318.58	5.1	97.9	0.2
第159期	(期 首) 2026 年 2 月 25 日	6,331	－	17,318.58	－	97.9	0.2
	2 月 末	6,354	0.4	17,466.57	0.9	98.1	0.2
	(期 末) 2026 年 3 月 25 日	5,976	△5.6	16,427.44	△5.1	98.4	0.2
第160期	(期 首) 2026 年 3 月 25 日	5,906	－	16,427.44	－	98.4	0.2
	3 月 末	6,050	2.4	16,844.17	2.5	98.3	0.2
	(期 末) 2026 年 4 月 27 日	6,079	2.9	16,960.90	3.2	98.2	0.2
第161期	(期 首) 2026 年 4 月 27 日	6,009	－	16,960.90	－	98.2	0.2
	4 月 末	5,947	△1.0	16,842.13	△0.7	98.3	0.2
	(期 末) 2026 年 5 月 25 日	6,056	0.8	17,140.11	1.1	98.3	0.2

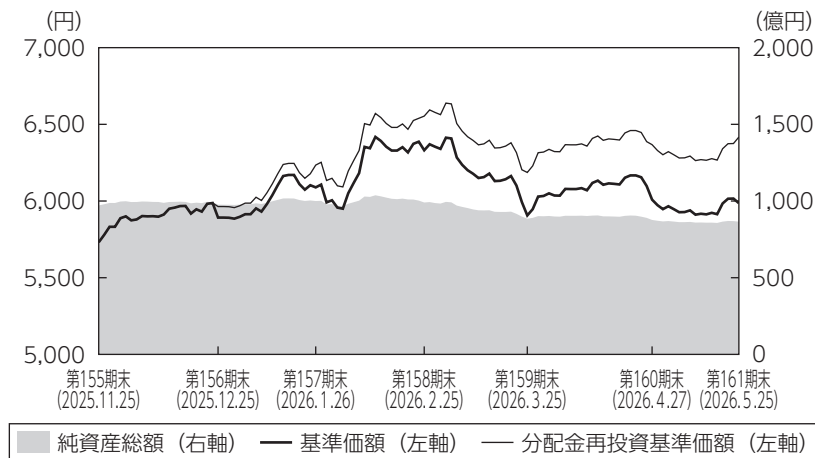
(注 1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注 2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注 3) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

■第156期～第161期の運用経過（2025年11月26日から2026年5月25日まで）

基準価額等の推移



第156期首： 5,731円

第161期末： 5,986円

(既払分配金422円)

騰落率： 12.0%

(分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。

(注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

当作成期間の基準価額（税引前分配金再投資ベース）は上昇しました。主として組み入れているケイマン諸島籍の外国投資信託「シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド（アンヘッジド）－Aクラス」（以下「エクイティファンド（ヘッジなし）A」といいます）の価格上昇が基準価額のプラス要因となりました。

投資環境

世界主要国の株式市場は総じて上昇しました。米国はF R B（米連邦準備理事会）の利下げ観測で上昇して始まりましたが、A I（人工知能）普及で影響が懸念されたソフトウェア株の下落などで上値が重くなりました。2月末には米・イスラエルのイラン攻撃を受け、原油高を通じたインフレ懸念で下落しました。4月以降は停戦協議の進展期待から半導体などA I関連株が急騰し、作成期末にかけ上昇基調を辿りました。米国では金利高止まり観測も重荷となりましたが、業績改善期待が下支えしました。欧州は景気減速懸念が残っていたものの、欧州への資金シフトや防衛関連株の堅調さで持ち直しました。2月以降は、中東情勢の緊迫化で下落し、反発後も英国の政局不安などで伸び悩む展開となりました。日本は日銀の利上げ懸念で出遅れたものの、総選挙勝利で高市政権の信任が高まると上昇し、作成期末にかけてはA I関連株高で堅調な展開となりました。

円は対米ドル・対ユーロともに下落しました。作成期初は高市政権の積極財政による財政悪化懸念からドルが強含みましたが、日銀の利上げ観測の高まりで横ばいの動きとなりました。年明け以降も利上げ観測で円高に振れる場面はあったものの、財政赤字懸念が円安圧力となりました。2月末は中東情勢の緊迫化で有事のドル買いが進みドル高円安となりましたが、介入警戒感などから上値は限定的でした。4月末の当局介入で一時円高となったものの、基調は変わらず作成期末にかけ再びドル高円安となりました。ユーロは対ドルで小幅上昇し、作成期初はF R B利下げ期待でユーロ高となりましたが、2月末以降は情勢悪化でユーロ安ドル高に転じました。対円では財政懸念からユーロ高円安が続きました。

国内短期金融市場では、3ヵ月国庫短期証券利回りは0.3%台から0.4%台のレンジ内で上下する動きとなりました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

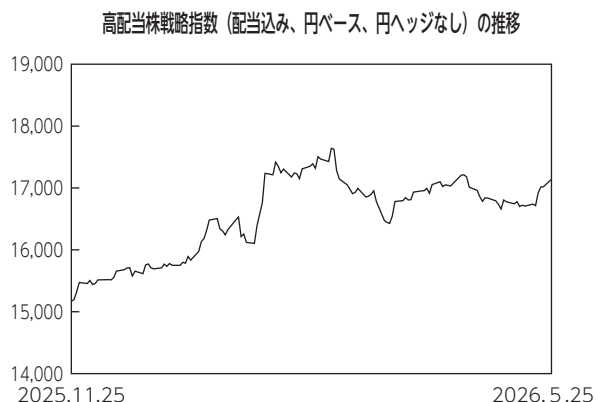
当作成期間を通じて「エクイティファンド（ヘッジなし）A」を高位に組み入れるとともに、国内投資信託「国内マネー・マザーファンド」へも投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行いました。

●エクイティファンド（ヘッジなし）A

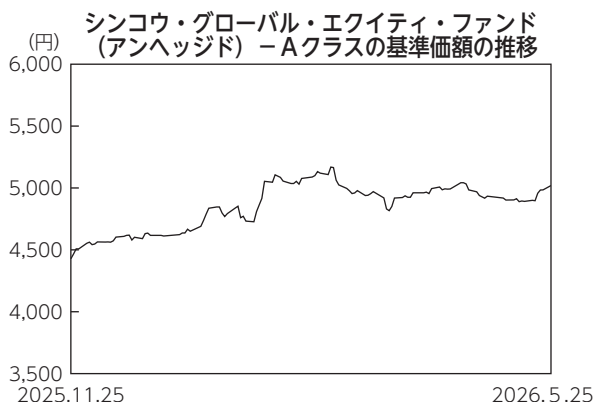
主として、ドイツ銀行ロンドン支店を相手先とする担保付スワップ取引の投資を通じて、日本を含む世界の高配当株投資戦略の運用成果を反映するクロッキー高配当株指数のひとつである「高配当株戦略指数（配当込み、円ベース、円ヘッジなし）」に実質的に投資を行い、指数への投資で得られる総合収益の獲得を目指しました。

●国内マネー・マザーファンド

残存期間の短い国債などで運用を行いました。



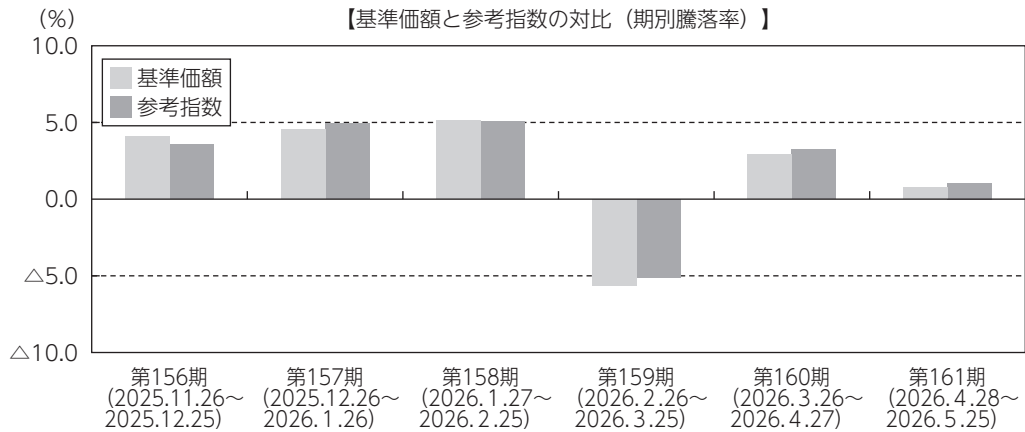
(注) 高配当株戦略指数は、クロッキー高配当世界株指数です。



(注) 基準価額は、当作成期間における分配金を再投資したものとみなして計算しています。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。
グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

収益分配金は、年 1 回の目標額決定時の基準価額に対して所定の率を乗じて得た額を上限として支払います。第156期は 1 万口当たり72円、第157期から第161期はそれぞれ 1 万口当たり70円を分配しました。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1 万口当たり）

項目	第156期	第157期	第158期	第159期	第160期	第161期
	2025年11月26日 ~2025年12月25日	2025年12月26日 ~2026年1月26日	2026年1月27日 ~2026年2月25日	2026年2月26日 ~2026年3月25日	2026年3月26日 ~2026年4月27日	2026年4月28日 ~2026年5月25日
当期分配金（税引前）	72円	70円	70円	70円	70円	70円
対基準価額比率	1.21%	1.14%	1.09%	1.17%	1.15%	1.16%
当期の収益	72円	70円	70円	70円	70円	70円
当期の収益以外	-円	-円	-円	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	5,235円	5,248円	5,260円	5,269円	5,280円	5,289円

- (注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。
- (注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。
- (注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き「エクイティファンド（ヘッジなし） A」を高位に維持し、収益の獲得を目指します。

●エクイティファンド（ヘッジなし） A

引き続き担保付スワップ取引への投資を通じて、「高配当株戦略指数（配当込み、円ベース、円ヘッジなし）」から得られる総合収益の獲得を目指します。

●国内マネー・マザーファンド

日銀は2026年4月の金融政策決定会合で、政策金利を0.75%とする金融政策を維持しました。日銀は今後も政策金利の引き上げを行うと見られますが、欧米で見られた形の急激な金利引き上げは回避すると想定されます。そのため、今後も公社債などへの投資を通じて、安定的な運用を目指します。

■ 1 万口当たりの費用明細

項目	第156期～第161期 (2025年11月26日 ～2026年 5月25日)		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	39円	0.642%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は6,066円です。
(投信会社)	(12)	(0.190)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(26)	(0.436)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(1)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用 (監査費用)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	39	0.643	

(注 1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注 2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

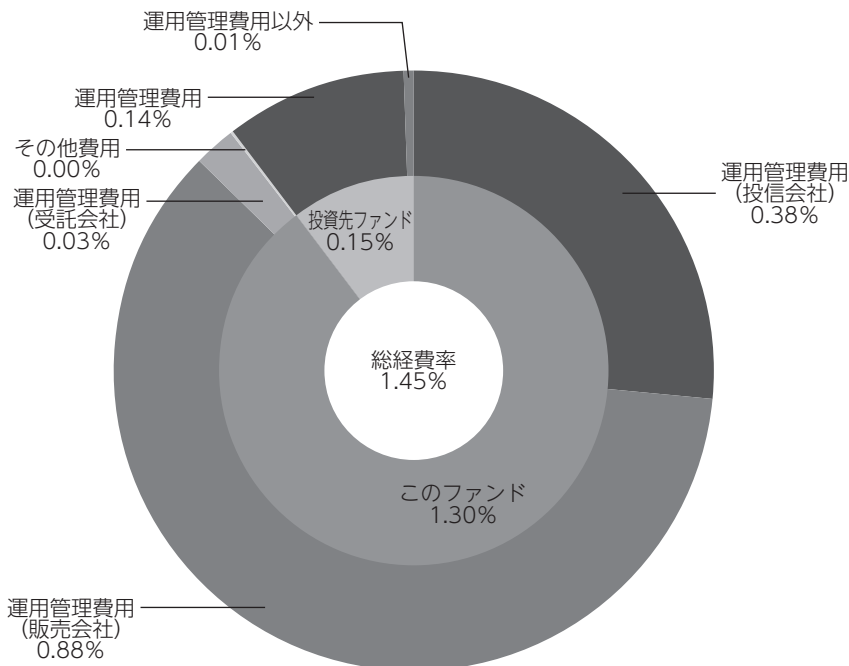
(注 3) 比率欄は「1 万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注 4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.45%です。



総経費率 (①+②+③)	1.45%
①このファンドの費用の比率	1.30%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.14%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.01%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。なお、投資先ファンドで行われるスワップ取引における指数手数料は、総経費率の計算に含まれておりません。当該指数手数料は、スワップ取引の日々の評価額から差し引かれ、基準価額に反映されています。上記の総経費率に関しては、投資先ファンドも含め入手し得る情報において作成、計算されたものです。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況（2025年11月26日から2026年5月25日まで）
投資信託受益証券

		第 156 期 ～ 第 161 期			
		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 邦 建	シンコウ・グローバル・エクイティ・ ファンド（アンヘッジド）－Aクラス	千□ －	千円 －	千□ 30,790,929.09	千円 14,520,000

（注）金額は受渡代金です。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2025年11月26日から2026年5月25日まで）
期中の親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

■利害関係人との取引状況等（2025年11月26日から2026年5月25日まで）
【世界高配当株セレクト（目標払出し型）毎月決算・為替ヘッジなしコースにおける利害関係人との取引状況等】
期中の利害関係人との取引等はありません。

【国内マネー・マザーファンドにおける利害関係人との取引状況等】
期中の利害関係人との取引状況

決 算 期 区 分	第 156 期 ～			第 161 期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B／A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D／C
公 社 債	百万円 724	百万円 209	% 28.9	百万円 －	百万円 －	% －

平均保有割合 51.6%

（注）平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

(注) 比率欄は純資産総額に対する比率です。

	第 26 作 成 期 末	第 27 作 成 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
国 内 マ ネ ー ・ マ ザ ー フ ァ ン ド	千□ 272,756	千□ 272,756	千円 276,792

■投資信託財産の構成

2026年5月25日現在

項 目	第 27 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 85,091,579	% 96.7
国 内 マ ネ ー ・ マ ザ ー フ ァ ン ド	276,792	0.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	2,604,624	3.0
投 資 信 託 財 産 総 額	87,972,996	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年12月25日)、(2026年1月26日)、(2026年2月25日)、(2026年3月25日)、(2026年4月27日)、(2026年5月25日)現在

項 目	第 156 期 末	第 157 期 末	第 158 期 末	第 159 期 末	第 160 期 末	第 161 期 末
(A) 資 産	99,409,823,067円	101,601,967,181円	102,507,227,004円	90,650,858,969円	89,626,875,488円	87,972,996,574円
コール・ローン等	2,654,401,353	2,783,141,262	3,735,372,214	3,279,921,438	3,259,087,226	2,604,624,448
投資信託受益証券(評価額)	95,929,419,907	98,032,687,734	96,945,552,951	87,094,499,314	86,091,159,116	85,091,579,327
国内マネー・マザーファンド(評価額)	276,001,807	276,138,185	276,301,839	276,438,217	276,629,146	276,792,799
未 収 入 金	550,000,000	510,000,000	1,550,000,000	－	－	－
(B) 負 債	1,747,328,009	1,599,949,821	3,461,898,833	2,156,492,892	1,965,138,970	1,422,276,014
未 払 収 益 分 配 金	1,193,437,520	1,149,662,251	1,095,197,082	1,048,841,188	1,021,165,019	1,012,101,327
未 払 解 約 金	447,953,556	337,483,050	2,259,145,957	1,012,563,360	838,163,303	323,826,526
未 払 信 託 報 酬	105,745,249	112,600,346	107,361,674	94,915,139	105,615,937	86,188,120
その他未払費用	191,684	204,174	194,120	173,205	194,711	160,041
(C) 純資産総額(A－B)	97,662,495,058	100,002,017,360	99,045,328,171	88,494,366,077	87,661,736,518	86,550,720,560
元 本	165,755,211,212	164,237,464,447	156,456,726,091	149,834,455,444	145,880,717,002	144,585,903,901
次期繰越損益金	△68,092,716,154	△64,235,447,087	△57,411,397,920	△61,340,089,367	△58,218,980,484	△58,035,183,341
(D) 受 益 権 総 口 数	165,755,211,212口	164,237,464,447口	156,456,726,091口	149,834,455,444口	145,880,717,002口	144,585,903,901口
1万口当たり基準価額(C/D)	5,892円	6,089円	6,331円	5,906円	6,009円	5,986円

(注) 第155期末における元本額は169,496,017,489円、当作成期間（第156期～第161期）中における追加設定元本額は2,863,089,801円、同解約元本額は27,773,203,389円です。

■損益の状況

〔自 2025年11月26日
至 2025年12月25日〕〔自 2025年12月26日
至 2026年 1月26日〕〔自 2026年1月27日
至 2026年2月25日〕〔自 2026年2月26日
至 2026年3月25日〕〔自 2026年3月26日
至 2026年4月27日〕〔自 2026年4月28日
至 2026年5月25日〕

項 目	第 156 期	第 157 期	第 158 期	第 159 期	第 160 期	第 161 期
(A) 配 当 等 収 益	1,456,308,771円	1,387,941,825円	1,321,329,572円	1,266,519,992円	1,234,919,236円	1,228,252,015円
受 取 配 当 金	1,455,530,096	1,386,943,653	1,320,339,401	1,265,401,446	1,233,853,928	1,227,377,326
受 取 利 息	778,675	998,172	990,171	1,118,546	1,065,308	874,689
(B) 有価証券売買損益	2,509,947,854	3,104,994,614	3,655,032,743	△6,474,247,191	1,377,757,665	△461,406,437
売 買 益	2,571,174,558	3,123,404,205	3,774,084,481	109,323,311	1,446,850,731	15,175,004
売 買 損	△61,226,704	△18,409,591	△119,051,738	△6,583,570,502	△69,093,066	△476,581,441
(C) 信 託 報 酬 等	△105,936,933	△112,804,520	△107,555,794	△95,088,344	△105,810,648	△86,348,161
(D) 当期損益金(A+B+C)	3,860,319,692	4,380,131,919	4,868,806,521	△5,302,815,543	2,506,866,253	680,497,417
(E) 前期繰越損益金	△13,425,308,527	△10,644,647,000	△7,042,582,921	△3,121,199,505	△9,171,582,155	△7,592,165,919
(F) 追加信託差損益金	△57,334,289,799	△56,821,269,755	△54,142,424,438	△51,867,233,131	△50,533,099,563	△50,111,413,512
(配当等相当額)	(80,548,417,990)	(79,820,568,274)	(76,057,453,505)	(72,858,413,486)	(70,972,611,963)	(70,364,252,177)
(売買損益相当額)	(△137,882,707,789)	(△136,641,838,029)	(△130,199,877,943)	(△124,725,646,617)	(△121,505,711,526)	(△120,475,665,689)
(G) 合 計(D+E+F)	△66,899,278,634	△63,085,784,836	△56,316,200,838	△60,291,248,179	△57,197,815,465	△57,023,082,014
(H) 収 益 分 配 金	△1,193,437,520	△1,149,662,251	△1,095,197,082	△1,048,841,188	△1,021,165,019	△1,012,101,327
次期繰越損益金(G+H)	△68,092,716,154	△64,235,447,087	△57,411,397,920	△61,340,089,367	△58,218,980,484	△58,035,183,341
追加信託差損益金	△57,334,289,799	△56,821,269,755	△54,142,424,438	△51,867,233,131	△50,533,099,563	△50,111,413,512
(配当等相当額)	(80,548,418,091)	(79,820,568,431)	(76,057,453,813)	(72,858,413,608)	(70,972,612,734)	(70,364,252,550)
(売買損益相当額)	(△137,882,707,890)	(△136,641,838,186)	(△130,199,878,251)	(△124,725,646,739)	(△121,505,712,297)	(△120,475,666,062)
分配準備積立金	6,236,870,230	6,374,480,727	6,252,708,816	6,092,786,645	6,062,926,531	6,118,960,547
繰越損益金	△16,995,296,585	△13,788,658,059	△9,521,682,298	△15,565,642,881	△13,748,807,452	△14,042,730,376

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	第 156 期	第 157 期	第 158 期	第 159 期	第 160 期	第 161 期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,417,517,199円	1,353,232,865円	1,292,910,572円	1,171,572,779円	1,185,079,479円	1,142,061,437円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収 益 調 整 金	80,548,418,091	79,820,568,431	76,057,453,813	72,858,413,608	70,972,612,734	70,364,252,550
(d) 分 配 準 備 積 立 金	6,012,790,551	6,170,910,113	6,054,995,326	5,970,055,054	5,899,012,071	5,989,000,437
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	87,978,725,841	87,344,711,409	83,405,359,711	80,000,041,441	78,056,704,284	77,495,314,424
(f) 1万口当たり当期分配対象額	5,307.75	5,318.20	5,330.89	5,339.23	5,350.72	5,359.81
(g) 分 配 金	1,193,437,520	1,149,662,251	1,095,197,082	1,048,841,188	1,021,165,019	1,012,101,327
(h) 1万口当たり分配金	72	70	70	70	70	70

■分配金のお知らせ

決 算 期	第 156 期	第 157 期	第 158 期	第 159 期	第 160 期	第 161 期
1 万口当たり分配金	72円	70円	70円	70円	70円	70円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

《お知らせ》

約款変更のお知らせ

■当ファンドおよび当ファンドが投資対象とする「国内マネー・マザーファンド」において、「一般社団法人投資信託協会」の名称変更に伴い、約款における記載を「一般社団法人資産運用業協会」に変更しました。
(2026年4月1日)

シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド (アンヘッジド) – Aクラス

当ファンドの仕組みは次の通りです。

形 態	ケイマン諸島籍外国投資信託／円建受益証券
運 用 方 針	主としてスワップ取引を通じて、「クロッキー高配当世界株指数（配当込み、円建て、円ヘッジなし）」のリターン（コスト控除後）を享受することを目指します。スワップ取引の相手方はドイツ銀行ロンドン支店となります。
主 な 投 資 制 限	・原則として、上述のスワップ取引を行う以外にはリスク資産への投資は行いません。 ・有価証券の空売りは行いません。 ・純資産総額の10%を超える借り入れは行いません。 ・流動性に欠ける資産への投資は、純資産総額の15%以内とします。
決 算 日	12月末
関 係 法 人	投資顧問会社：アセットマネジメントOne株式会社 受託会社：C I B C カリビアン・バンク・アンド・トラスト・カンパニー（ケイマン）リミテッド 管理事務代行会社：ステート・ストリート・バンク・インターナショナルGmb H、ルクセンブルク支店 保管受託銀行：ミズホ・バンク（U S A）
信 託 報 酬 等	純資産総額に対し年率0.145% 上記料率には、投資顧問会社、受託会社、管理事務代行会社ならびに保管受託銀行への報酬が含まれます。ただし、これらの報酬の中には取引頻度に応じた額や最低支払額が設定されているものがあるため、取引頻度や資産規模などにより上記料率を上回る場合があります。なお、最低支払額として、受託会社に対し年15,000米ドル、管理事務代行会社に対し年45,000米ドルが設定されています。
そ の 他 の 費 用 ・ 手 数 料	監査報酬、弁護士費用および当初設定にかかる諸費用などが支払われます。これらは定率でないため事前に概算料率や上限額などを表示することができません。

「シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド（アンヘッジド）－Aクラス」は、「シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド（アンヘッジド）」を構成する個別クラスとなっております。

「シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド（アンヘッジド）」は、同ファンドの国籍において一般に公正妥当と認められる会計原則に準拠した財務諸表が作成され、現地監査人による監査を受けております。

なお、以下は入手しうる直近の現地監査済み財務諸表の原文の一部を委託会社が和訳したものでありますが、あくまで参考和訳であり正確性を保証するものではありません。

「シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド（アンヘッジド）」の状況

(1) 財政状態計算書

2023年12月31日現在

(日本円表示)

資産	
損益を通じて公正価値で測定する金融資産 (取得原価：101,538,116,580円)	113,938,027,367
現金	116,843,545,878
資産合計	230,781,573,245
負債	
契約先への預り金	114,919,400,000
未払管理事務代行報酬	20,660,546
未払保管受託報酬	4,427,259
未払管理報酬	14,757,530
未払専門家報酬	3,806,460
未払受託者報酬	3,094,956
その他の負債	1,097,644
負債合計（受益者に帰属する純資産を除く）	114,967,244,395
受益者に帰属する純資産	115,814,328,850
1口当たりの純資産価額	
Aクラス 投資信託受益証券 (発行済投資信託受益証券口数 237,006,062,691口)	0.4887

(2) 包括利益計算書

2023年12月31日に終了した会計年度

(日本円表示)

投資収益		
実効金利法を用いて算出された受取利息		29,123,402
損益を通じて公正価値で測定する金融資産にかかる実現純利益		584,050,500
外貨取引にかかる実現純利益／（損失）		(147,372)
損益を通じて公正価値で測定する金融資産にかかる未実現利益／（損失）の変動純額	12,713,020,581	
外貨取引にかかる未実現利益／（損失）の変動純額		(43,318)
投資収益合計		13,326,003,793
費用		
管理事務代行報酬		58,979,302
保管受託報酬		12,854,507
管理報酬		42,249,144
受託者報酬		8,850,575
専門家報酬		3,911,310
その他報酬		2,577,606
費用合計		129,422,444
純投資利益		13,196,581,349
財務費用		
受益者への分配金		(15,217,448,071)
受益者に帰属する純資産の減少額		(2,020,866,722)

(3) 次の表は、金融資産の集中を表示しており、2023年12月31日現在で当ファンドが保有する金融資産の公正価値および想定元本を示している。

	(単位：日本円)	
	公正価値	想定元本
金融資産：		
金融商品（スワップ取引）への投資	113,938,027,367	28,720,000,000
会計年度末	113,938,027,367	28,720,000,000

国内マネー・マザーファンド

運用報告書

第18期（決算日 2026年1月15日）

（計算期間 2025年1月16日～2026年1月15日）

国内マネー・マザーファンドの第18期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信 託 期 間	原則、無期限です。
運 用 方 針	主として本邦通貨建ての短期公社債に投資することにより、安定した収益の確保を目指した運用を行います。
主 要 投 資 対 象	本邦通貨建ての公社債を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

■最近3期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		期 騰	中 落 率			
16期(2024年1月15日)	円		%	%	%	百万円
	10,076		△0.1	61.4	—	602
17期(2025年1月15日)	10,083		0.1	80.7	—	597
18期(2026年1月15日)	10,122		0.4	77.1	—	535

（注1）債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

（注2）当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

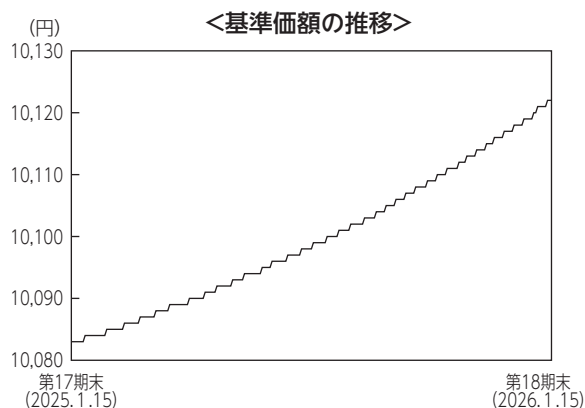
（注3）△（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準	価 額	債 組 入 比 券 率	債 先 物 比 券 率
		騰 落 率		
(期 首) 2025年 1 月15日	円	% －	% 80.7	% －
1 月 末	10,084	0.0	80.7	－
2 月 末	10,086	0.0	80.7	－
3 月 末	10,089	0.1	72.3	－
4 月 末	10,091	0.1	84.0	－
5 月 末	10,094	0.1	82.3	－
6 月 末	10,097	0.1	82.3	－
7 月 末	10,100	0.2	82.2	－
8 月 末	10,103	0.2	82.2	－
9 月 末	10,107	0.2	77.2	－
10 月 末	10,111	0.3	77.2	－
11 月 末	10,115	0.3	77.2	－
12 月 末	10,120	0.4	77.1	－
(期 末) 2026年 1 月15日	10,122	0.4	77.1	－

(注 1) 騰落率は期首比です。
(注 2) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

■当期の運用経過（2025年1月16日から2026年1月15日まで）



基準価額の推移

当ファンドの基準価額は1万口あたり10,122円となり、前期末の同10,083円から0.39%上昇しました。

基準価額の主な変動要因

残存期間が1年程度までの公社債に投資を行い、安定した収益の確保を目指して運用を行った結果、基準価額は上昇しました。

投資環境

国内短期金融市場では、3ヵ月国庫短期証券利回りは0.25%近辺の水準で始まりましたが、日銀が2025年1月と12月に政策金利を引き上げたことから、当期末にかけて同利回りは上昇しました。

ポートフォリオについて

残存期間の短い国債などで運用を行いました。

今後の運用方針

日銀は2025年12月の金融政策決定会合で、政策金利を0.75%に引き上げました。日銀は今後も政策金利の引き上げを行う姿勢を示していますが、現状では利上げの幅やペースの加速は見込まれていません。そのため、今後も安定的な運用を目指し、公社債などへの投資につとめます。

■ 1 万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

■ 売買及び取引の状況 (2025年 1 月16日から2026年 1 月15日まで)

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国	内 国 債 証 券	951,709	— (1,023,000)

(注 1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれておりません）。

(注 2) () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等 (2025年 1 月16日から2026年 1 月15日まで)

期中の利害関係人との取引状況

区 分	当 期			期 末		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B	B / A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	D / C
公 社 債	百万円 951	百万円 149	% 15.7	百万円 —	百万円 —	% —

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第 1 項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

■ 組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区 分	当 期				期 末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
	千円	千円	%	%	5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
国 債 証 券	413,000	412,686	77.1	—	—	—	77.1
合 計	413,000	412,686	77.1	—	—	—	77.1

(注) 組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第 2 位を四捨五入しています。

(B) 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債銘柄別

銘 柄		当 期		期 末	
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
(国債証券)		%	千円	千円	
1 2 8 1 回	国庫短期証券	—	100,000	99,993	2026/01/20
1 3 4 4 回	国庫短期証券	—	53,000	52,974	2026/02/24
1 3 4 7 回	国庫短期証券	—	150,000	149,873	2026/03/09
1 3 5 3 回	国庫短期証券	—	60,000	59,910	2026/04/06
4 6 3 回	利付国庫債券（2 年）	0.4000	50,000	49,933	2026/08/01
合 計		—	413,000	412,686	—

■投資信託財産の構成

2026年 1月15日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 412,686	% 77.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	122,380	22.9
投 資 信 託 財 産 総 額	535,066	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2026年 1月15日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	535,066,885円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	122,289,177
国 債 証 券(評価額)	412,686,342
未 収 利 息	81,503
前 払 費 用	9,863
(B) 負 債	－
(C) 純 資 産 総 額(A－B)	535,066,885
元 本	528,599,774
次 期 繰 越 損 益 金	6,467,111
(D) 受 益 権 総 口 数	528,599,774口
1万口当たり基準価額(C／D)	10,122円

(注1) 期首元本額 592,995,208円
追加設定元本額 0円
一部解約元本額 64,395,434円

(注2) 期末における元本の内訳
世界高配当株セレクト (目標払出し型) 毎月決算・為替ヘッジなしコース 272,756,011円
世界高配当株セレクト (目標払出し型) 毎月決算・為替ヘッジありコース 21,814,391円
グローバル・アロケーション・オープン Aコース (年1回決算・為替ヘッジなし) 39,526,080円
グローバル・アロケーション・オープン Bコース (年4回決算・為替ヘッジなし) 188,580,850円
グローバル・アロケーション・オープン Cコース (年1回決算・限定為替ヘッジ) 2,962,052円
グローバル・アロケーション・オープン Dコース (年4回決算・限定為替ヘッジ) 2,960,390円
期末元本合計 528,599,774円

■損益の状況

当期 自2025年 1月16日 至2026年 1月15日

項 目	当 期
(A) 受 取 利 息 等 収 益	1,907,575円
受 取 利 息	1,907,575
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	353,672
売 買 益	353,672
(C) 当 期 損 益 金(A＋B)	2,261,247
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	4,920,651
(E) 解 約 差 損 益 金	△714,787
(F) 合 計(C＋D＋E)	6,467,111
次 期 繰 越 損 益 金(F)	6,467,111

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

《お知らせ》

約款変更のお知らせ

■投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、「運用報告書の交付」を「運用状況にかかる情報の提供」に変更しました。

(2025年 4月 1 日)